

東松島市イン・リーダー研修会で小学生を対象に 2 つのワークショップを行いました (2018/7/16)

テーマ：防災教育，社会教育
場所：国立花山青少年自然の家（栗原市）

7月16日（月）海の日に，国立花山青少年自然の家にて「平成30年度東松島市イン・リーダー研修会」が開催され，当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が防災に関するワークショップの講師をつとめました。同研修会は，東松島市子ども会養成連合会及び東松島市教育委員会が主催・企画したもので，東松島市内の子ども会活動でのリーダーになる小学5・6年生を対象に，共同生活や野外活動を通し，リーダーとしての資質を磨き，集団活動における仲間づくりの大切さや自主性を育成する目的で開催されたものになります。佐藤翔輔准教授が，同研修会に防災のワークショップの講師として参加するのは一昨年から連続3回目になります。

佐藤翔輔准教授は，「災害を生きぬく力おためしゲーム」と「防災クロスロード」の2つのワークショップを提供しました。前者は，クイズを通して，参加者個々で自身の災害時の生きる力を可視化するものです。後者は，災害対応の意思決定におけるジレンマを体験するカード形式のゲームです。ワークショップには，80名の小学5・6年生が参加し，楽しく・和気あいあいの雰囲気で行われました。



会場の様子



災害を生きぬく力おためしゲーム



防災クロスロード

写真提供：東松島市生涯学習課

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）